

Q. 献立内容と品数の充実は

A. 園児が喜ぶ給食の提供に努める



さく の けい こ

作野桂子 議員

SAKUNO Keiko



▲たのしい給食の時間

他市町の保育園給食の献立を確認したところ、ご飯と主菜、汁物の3品目を中心であり、豊山町は品目が少ない印象を持った。特に、幼児にとって給食は栄養をとるだけでなく、周りの人と会話を楽しむことや季節を感じることに、食べ物に感謝する気持ちをもつことなど、心の豊かさを育む大切な時間となる。

◎ 栄養価だけでなく、視覚にも考慮した献立内容の見直しや品数を増やすなどの取組をしているのか。

A 生活福祉部長
献立内容の見直しや品数を増やすなど、園児が喜ぶ、より充実した給食の提供に努める。

文科省は、右記のように、校則や生徒指導の理論や実際の指導方法などについて時代の変化に即してまとめている。「豊山町子ども・子育て支援事業計画書」基本目標3には「すべての子どもの基本的人権が尊重される環境づくりを整備します。また、家庭・学校・地域が一体となって、子ども自らの力を培い、伸ばし、支えていく環境づくりを推進します。」と明記している。

【生徒指導提要】

文科省 2010年作成（一部抜粋）

- ・校則の根拠法令
社会通念上、合理的と認められる範囲で、校長は校則などにより児童生徒を規律する包括的な権能を持つ
- ・校則の見直し
社会の常識、時代の進展などを踏まえたものになっているか、絶えず積極的に見直さなければなりません

A. Q. 通学時の荷物見直しは生徒が自ら判断している

子ども達は、あらゆる場面で「権利の主体」として尊重される必要がある。

◎ 現在の校則や規則には、子ども達に説明ができないものがある。靴や靴下が白一色指定の理由は。ツーブロツクやポニーテールが禁止されている理由は。

A 教育委員会事務局長
生徒が自身の発達過程にあることや学校においては、一定の決まりが必要であるという考え方による。髪型は身だしなみの指導という観点。

◎ 全教職員が統一の認識をもって指導をしているか。

A 教育委員会事務局長
職員会議などで確認し、共通認識をもち指導している。



▲いまだに重い荷物

◎ 文科省は、右記のように、荷物について通知している。現在も、荷物は10キロを超えることがある。生徒の身体を守るため、再度見直しを。

A 教育委員会事務局長
持ち帰る必要のない教科書などは学校に置いて良いと指導している。生徒が自ら判断して自主的に持ち帰るものを選んでいく。

【児童生徒の携行品に係る配慮について】

文科省 2018年通知（一部抜粋）

- ・教科書やその他教材、学用品や体育用品等が過重になることで、身体の健やかな発達に影響が生じかねないこと等の懸念や保護者等からの配慮を求める声が寄せられている
- ・児童生徒の携行品の重さや量について改めて御検討の上、必要に応じ適切な配慮を講じていただきますようお願いいたします